



発行 社会福祉法人 南光社会福祉事業協会
 救護施設 南光園
 〒679-5222 佐用町西下野 880 番地
 TEL (0790) 77-0236 FAX (0790) 77-0715
 URL <http://www8.ocn.ne.jp/~nanko-en>
 E-mail nanko-en@triton.ocn.ne.jp

就任のご挨拶

施設長 武内 明大

盛夏の候、地域の皆様方におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。平素は当施設の運営におきまして、深いご理解、暖かいご支援、ご協力を賜り本当にありがとうございます。皆様に支えられ、こうして令和初の広報誌を発行することができました。

さて、私はこの度 6 月より施設長に就任いたしました。地域の皆さんとの繋がりをより一層深め、前任の施設長達が築き上げてきた施設をより発展させていけるよう努力していく所存です。ただ、まだまだ不慣れな部分もたくさんありますので、皆様のお力添えをどうか宜しくお願い申し上げます。

南光園は姫路に本部がある太陽福祉グループのひとつである南光社会福祉事業協会が運営している施設でありまして、私は南光園へ配属されるまでは姫路の社会福祉法人にて従事しておりました。そうした私の経験のなかで、南光園の一番の魅力だと感じているのが、「地域との繋がりの深さ」です。他の法人、施設において、これほど地域との繋がりがあがる施設はありませんでした。地元住民の皆様をはじめ、地域の小学校、保育所、そして町内の他の社会福祉施設の皆様のお顔が本当によく見えます。例えばですが、この 6 月には南光園に三河小学校の 1 年生から 3 年生までの 17 名を招いて開催しました「三河小学校交流会」、そして三河小学校の皆さんによる南光園も含めた地域の方を招待いただき開催された交流イベント「三河っ子祭り」がありました。

こうした交流の中で南光園が地域の一員として受け入れられているのを肌で感じさせていただいたのと同時に、これこそが我々社会福祉法人がこれから目指していく「地域との共生」のヒントがあると感じました。私たち南光園は救護施設という事業を実施していますが、それと同時に社会福祉法人でありますので、地域の皆様の多種、多様なニーズに対応し、地域福祉サービスの中心としての役割を果たし、そして地域の方へ還元する必要があります。どうか地域の皆様にはこの南光園を、社会福祉法人南光社会福祉事業協会を有効に使っていただければと思います。

そのような中で、南光小学校、南光保育園と合併により三河小学校、三河保育園がこの令和元年度をもって閉校、閉園することとなり、南光園としても大変寂しい限りであります。ただ、三河小学校、三河保育園が統合されたとしても、三河地域の子供たちはいるわけなので、来年度以降も何かの形で繋がり、交流を続けていく必要があるのではないかと感じております。それがどういう形がいいのかは地元の皆様のご意見、ご協力をいただきながらこれから検討していくこととなりますので、どうか宜しくお願い申し上げます。

三河小学校交流会

6 月 11 日に毎年恒例の 1~3 年生との交流を園内で行ないました。初めは緊張していた小学生たちもゲームを楽しむうちに笑顔も見られとても楽しいひと時を過ごさせてもらいました。



私たちが児童たちとの関わりで利用者の方の柔らかな笑顔を見れたことはとても微笑ましいことです。



お付き合いが始まったのは、小学校の先生の一言からで、遠足の際にこちらに寄って頂いたことが、きっかけでした。それから 10 年以上の長い間、このように児童と触れ合える機会を頂けて本当に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。



日時：8 月 3 日（土） 18:00~20:30
雨天中止

場所：南光園 園庭
内容：焼きそば、フランクフルト、からあげなどの食べ物の他にもゲームやうちわ抽選もあります

なつやすみ 工作教室

日時：8 月 20 日（火） 1:30~3:30
人数：20 名（参加費無料）
締切：8 月 9 日

紙すきで自分だけのハガキを作ろう♪
夏休みの最後の思い出に
楽しみましょう！！

申し込みは 77-0236 まで



編集後記

7 月上旬は九州の豪雨で大惨事となり、あらためて自然の恐ろしさを痛感しました。「いつ何時どこで何が起こっても不思議ではない」そういう時代が来たように感じます。いざとなった時の備えはもちろんの事、それに伴う心構えをもち、今一度気持ちを引き締めて過ごしていこうと思います。